

【記載例】

給与支払報告 給与支払報告 にかかると特別徴収 にかかると特別徴収 にかかると特別徴収 にかかると特別徴収 (普通徴収、一括徴収記載例)

市町村記入欄	
入力者	確認者
年度	1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度

◎異動があった場合は、すみやかに提出してください。

給与支払者 (特別徴収義務者)	所在地	〒012-3456 〇〇県〇〇市△△1-2-3		特別徴収義務者 指定番号	9999999							
	フリガナ	カブシキガイシャ マルバツショウジ		宛名番号	1234							
	氏名又は名称	株式会社 ○×商事		担連 当絡 者先	所属 氏名	人事課人事労務係 特徴 花子						
	個人番号 又は法人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	一人番号の記載に当たっては、 左端を空欄とし右詰めで記載		電話	000-000-0000 内線 (123)						
給与所得者	フリガナ	スズキ イチロウ		(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異動 年月日	異動の事由	異動後の未徴収 税額の徴収方法			
	氏名	鈴木 一郎										
	生年月日	昭和〇〇年××月△△日		6 月から	12 月まで	1 月から	5 月まで	〇〇 年 12 月 31 日	1 右から 番号を入 記	1. 退職 2. 転職 3. 休職 4. 死亡 5. 支払少額 6. 合併 7. その他 (事由・理由)	右から 番号を入 記	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)
	個人番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2										
	受給者番号	123456										
1月1日 現在の住所	鶴ヶ島市△△3-2-1		120,000 円	70,000 円	50,000 円							
異動後の 住所												

1. 特別徴収継続の場合

新しい 特別徴収 義務者 先	特別徴収義務者 指定番号	〒	新しい勤務先 〒	12月分 を 徴収し、 納入する よう連絡 済みです。
	所在地			
	フリガナ			
	氏名又は名称			

12月末で退職した給与所得者の徴収方法を、1月分一括して納入する場合。
 (ア) 特別徴収税額(年税額) 120,000円(6月から翌年5月分)
 (イ) 徴収済額 70,000円(6月から12月分)
 (ウ) 未徴収税額 50,000円(翌年1月から翌年5月分)
 ↑
 一括徴収税額(納入額と同額)

該当する事由の番号を記入

1. 必要 2. 不要

2. 一括徴収の場合

由	右から 番号を 記入	1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため	徴収予定月日	(上) 徴収予定額 (ウ)と同額
		2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため		

左記の一括徴収した税額は、
1 月分(翌月10日納入期限分)で
納入します。

3. 普通徴収の場合

由	右から 番号を 記入	1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため
		2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下
		3. 死亡による退職であるため

一括で徴収した税額を納入する月
※1月以降の退職の場合は、原則
一括徴収が基本となります。

黒のボールペン又はペンで記載してください。
 「給与支払者(特別徴収義務者)」欄中の「宛名番号」欄には、この届出書に記載した給与
 通知書に記載された宛名番号を記載してください。
 一月一日から四月三十日までの間に退職した人に未徴収税額がある場合には、一括徴収することが義務づけられています。
 特別徴収継続の場合、新しい勤務先で納税義務者へ電子での税額通知をご希望の際は、新しい勤務先の受給者番号を必ず記載して
 ください。

該当する徴収方法の事由番号を記入。

【提出先】〒350-2292 埼玉県鶴ヶ島市大字三ツ木16番地1 鶴ヶ島市役所 総務部 税務課 市民税担当
 ※誤読を避けるため、氏名又は名称のフリガナは必ず記入してください。